

## 『緩和ケア』第36巻（2026年）— 特集・増刊号のご案内

（特集タイトルは、都合により変更があることをご了承ください）

◆ 1号（1月15日発行予定）

編集：森田達也、森 雅紀、矢野和美

### 「メサドン再発見—今どきの考え方・使い方」

メサドンの使用量が多い施設数施設を中心にして、いまどきのメサドンの使い方（臨床になじんできた現場感覚）がわかるようまとめた1冊。

◆ 2号（3月15日発行予定）

編集：西 智弘、田村恵子、青山真帆

### 「緩和ケア“魂”は貫けるのか？—医療制度・施策とのはざままで」

古くから先人が培ってきた緩和ケアの「魂」とでも呼ぶべき哲学を守りつつ、それを現場に伝え、そして質も高めていくために、いま何が求められているのかを解説する。

◆ 3号（5月15日発行予定）

編集：木澤義之、高橋美賀子

### 「待ったなし 腎不全の緩和ケア」

がん以外の疾患に対する緩和ケアの普及は十分とは言えない。腎不全の緩和ケアも同様だが、近年、その重要性が徐々に認識されてきている。腎不全の緩和ケアに焦点を当てた特集を通じ、腎不全の緩和ケアに関する知識を深めていただける1冊！

◆ 4号（7月15日発行予定）

編集：高橋美賀子、矢野和美、森 雅紀

### 「病状説明を支える—看護師だからこそできること」

◆ 5号（9月15日発行予定）

編集：角甲 純、山口 崇、森田達也

### 「AI時代の緩和ケア」

◆ 6号（11月15日発行予定）

編集：木澤義之、青山真帆、森田達也

### 「集中治療」

◆ 増刊号のご案内

（6月1日発行予定）

編集：角甲 純、青山真帆、西 智弘

### 「予後の対話の現在地—何を伝え、どう支えるか」

さまざまな場面における具体的な困難事例を取り上げ、各場面に対する支援の工夫や解決策、そして得られた教訓を詳細に掘り下げる。医療現場での「行き詰まり」は決して特異なものではなく、多くのプロフェッショナルが共通して直面する課題である。皆さんが共感し、実践に役立つ具体的な知見を得ることで、緩和ケアの質をさらに高める一助となることを目指す。